

【参考】

1 コシノジュンコ氏（デザイナー）について



文化服装学院在学中、新人デザイナーの登竜門「装苑賞」を最年少の19歳で受賞。1978年パリコレクション初参加以降、北京、NY（メトロポリタン美術館）、ベトナム、キューバ、ポーランド、ミャンマーなど世界各地でショーを開催。オペラ、ブロードウェイミュージカル「太平洋序曲」（トニー賞ノミネート）、DRUM TAOの舞台衣装、スポーツユニフォーム、花火のデザイン、JOCセカンドエンブレム等を手掛ける他、国内被災地への復興支援活動も行っている。これまでの文化交流活動も高く評価されており、2004年Visit Japan 美しき日本へ 羽田空港第2旅客ターミナル内覧交流会、2008年ケネディセンター（ワシントン）主催 Japan Festival のオープニング、2014年、2015年国連総会時におけるニューヨークで和食を世界にアピールする総理出席のレセプションなど国際文化交流イベントを多数プロデュースする。2015年、京都国立博物館の特別展「琳派 京を彩る」のオープニングイベントとして、能とファッションのコラボレーションショーを開催。京都府あげぼの賞 受賞。平成29年度文化功労者 顕彰。

観光庁 Visit Japan 大使、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 文化・教育委員、2025年国際博覧会誘致特使。

2 能楽出演者について

(1) 団 長 シテ 分林道治 観世流能楽師



昭和 42 年京都生まれ。

幼少より父，分林弘一，九世片山九郎右衛門(人間国宝) に師事。

現在は十世片山九郎右衛門に師事。

四歳の時仕舞「玄象」にて初舞台。

東京芸術大学音楽学部邦楽科能楽専攻卒業。

「公益社団法人」京都観世会理事，「学校法人」燈影学園非常勤講師，日本ビジネス協会能楽部会講師。

京都，大阪，神戸三田，東京にて能楽教室を開講。

重要無形文化財(総合指定) 保持者。

能楽の普及と自己研鑽のために「初桜能」「初秋の能」を毎年主催。

これまでの海外公演はアメリカ，フランス，スイス，ドイツ，エストニア，フィリピン。最近では，平成 27 年日本，ブラジル修好 120 年記念ブラジル公演にて団長を勤め，能「船弁慶」を演能。同年琳派 400 年記念「コシノジュンコ，ファッションショー(京都国立博物館)」にて能楽の演出，また雷神の役にて出演。

(2) 団 員

風神 味方 團

女 大江広祐

笛 杉信太郎

小鼓 吉阪一郎

大鼓 河村 大

太鼓 前川光範

働き 梅田嘉宏